



こんにちは

村田 けい子 です

2017
12.1
No 130

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

届かなかった住民の願い



ポプラが切られてのっぺりした町道 小学校線、(保育園側から望む)

11/23 記念樹の3本のポプラ、切られる。

3000筆を超える嘆願書名も空しく、3本のポプラは伐採されました。数にして町民のほぼ2人に一人が署名した「ポプラを残して」の意見表明署名。住民が「移植は望まないが、あとは町長に任せる」とした判断が、伐採とは。せめて町長自身が『英断』としていた移植にはならなかったのか。ポプラの会のみなさんも『『伐採』まで戻るとは思わなかった』とおっしゃっています。移植費が1200万円。ポプラを残す設計変更による工事が約1,400万円。それを惜しんでの伐採なのか。

最後まで住民のみなさんの想いをくみ上げられなかった町長の判断。3本のポプラが街路樹のように立つ町道は、子どもたちの育つ小学校にはふさわしいと思っていましたが、とても残念な結果となりました。懸念するのは住民のみなさんが「これほど頑張ったのに、聞いてもらえなかった」と町政へのモノ言う力が萎(な)えてしまわないかということ。一人ひとりの声の生きる町政を、町長も望んでいらしたはず。多くの町民の願いを踏みにじってまで、原案通りに整備すべきものなのか、私は疑問です。

小学校の周囲の道路は、真っすぐでなくても、平らでなくてもいいと思います。車がスピードが出せない作りがいいし、緑にあふれ風のそよぎや小鳥のさえずりが聞こえる心を育む環境であってほしいと思います。今回の「ポプラを残して」の住民の運動は「子どもたちの心を大切に、思いを残して」というものです。それはそのまま「一人ひとりの想いの生きる町政」を求める運動だったと思っています。

ポプラを残そうと大奮闘された平成4年度の卒業生と保護者のみなさん、残念な結果となりましたが、その志は今後生きると思えますし、生きる町政にしていかななくてはならないと思います。

11.26 東御のつどい「自らを救い 人類の危機を救う被爆者の決意と核兵器禁止条約」 藤森俊希さんの講演を聴く。

被爆者の藤森俊希さん



今週のパチリ

冷気が這い下りる

まだ明けやらぬ早朝、浅間連山を見ると、雲か霧か、冷気が山肌を縫いながら降りてくるのがはっきりと見えました。

雲霧が細長く伸びて、竜が横たわるように見えますが、陽の光が当たるにつれて形が乱れはじめ、まさに「雲散霧消」します。その後の姿がコレ！冷たい雲の一団が山肌に沿って這い下りてくるダイナミックな大自然の営みに、しばし見とれていました。

ノーベル平和賞を受賞したICAN(国際核兵器廃絶キャンペーン)の授賞式に被爆者としてノルウェーのオスロに参加の予定の藤森さんを招いての講演会が東御市中央公民館で行われ、参加しました。東御市長も参加していました。

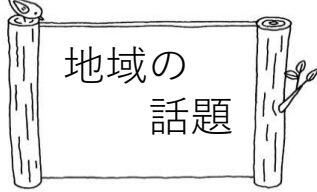
母親の背中に負ぶわれて1歳で被爆した藤森さんは、背中全面がやけどで包帯でぐるぐる巻きされ、いのちが危ぶまれたそうです。12人の家族のうち8人が被ばく。近くの山に逃れた様子を表した絵を紹介。



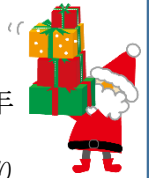
比治山にたどり着き 救援を仰ぐことも出来ず力尽きた人々

原爆に焼かれた人々は、肌が露出しその色は赤色ではなく、皮膚が垂れ下がって白く見えたそうです。世界の核兵器の93%を米ロ所有。

決して使ってはならない兵器は廃絶しかない、そのための3000万人署名をやりぬきましょう。世界で数億人の署名を」と訴えておられました。



主催 ぶらりSHINDENまち歩き実行委員会



今年も西塩沢公民館で楽しいクリスマスコンサートが開かれます。今年
はメインゲストに女神湖で音楽活動をしている「KSC」というグループが
出演予定です。LGBTなどの性の多様性を背負って悩んだり苦しんだり
した心を音楽に託して届けてくれるそうです。

私たち地元西塩沢の音楽グループもちろん参加。

問い合わせは 吉村さん (56)1908

●その2

清水まなぶ

歌と語りの講演会

2018. 1. 27(土)13:30~15:30 立科町老人福祉センター

長野県下77の市町村を巡って、戦争体験をした祖父母の時代を歌にして、
受け継いだ命を大事にして生きようと発信する『回想』プロジェクト。

100校以上の小中学校を巡り、子どもたちに思いを伝え続ける清水さん。

11月21日に滋野小学校で行われた講演会に行ってきました。

子どもたちに「夢は何？好きなことは何？」と語りかけると子どもたちが次々と手を
挙げて元気な声で答えていました。

「今は夢をもって、それに向かって一所懸命生きられるけど、そんなことが許され
なかった時代があったんだよ」とおじいさんのお話に入っていました。

最後には、「受け継いだ命だよ。自分の命、人の命を大切にして、夢に向かって
頑張ろうね」と未来へのエールを送っていました。戦争を経験していない世代に
伝えるのは難しいモノですが、真剣な心のこもった清水さんの講演に子どもたちは
拍手とハイタッチで応えていました。今度は立科町で開催予定です。証言のパネルの他、戦争や
福島原発問題のパネル展も行われます。

主催は 平和のための戦争展 清水まなぶコンサート実行委員会 代表は竹花初雄先生です。

問合せは村田まで 事務局をしています。



過去は変えられないが
未来は変えられる。

今が大事！！

何を遊ぶかは過去の学びから

「過去は変えられないが未
来は変えられる。今が大
事！」とメッセージ

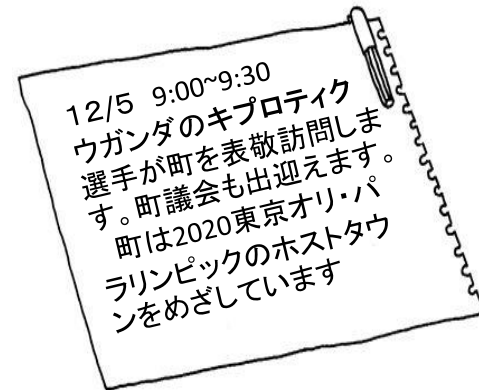
【12月議会一般質問】12/7-8 傍聴にお出かけください。

◆12/7(木) 10:00~

- 1、今井 清 ①公共施設総合管理計画について
②産業振興と企業誘致について
- 2、森澤文王 ふるさと納税について
- 3、両角正芳 ①地域高校の存続発展無くして町の繁栄はあるのか。
②設置後、1年が経過した観光事業推進室の必要性
を問う。
- 4、田中三江 立科町の森林政策について
- 5、今井英昭 まち・ひと・しごと創生『立科町総合戦略』について

◆12/8(金) 10:00~

- 6、榎本真弓 ①新年度予算編成方針について
②立科町の文化財について
- 7、土屋春江 地域の歴史文化を活かすために
- 8、村田桂子 ①子育て支援(奨学金・保育料給食費の無料化、通学費への補助制度)
②高齢者・障がい者などにやさしい町をめざして(公民館などにエレベーターを)
③国保の広域化について (保険料が上がらない対応を求めます)
- 9、村松浩喜 ①旧保育園の早期活用を望む
②町のPR及び観光商工事業の進捗・計画を問う。
- 10、森本信明 ①振興計画・総合戦略の進捗管理と次年度予算編成に向けて
②交通安全対策(事故防止)について ③小・中学校教育関係について



12/5 9:00~9:30
ウガンダのキプロティク
選手が町を表敬訪問しま
す。町議会も出迎えます。
町は2020東京オリ・パ
ラリンピックのホストタウ
ンをめざしています

13:30~